

闘え!商大

商大スポーツ

FREE

完全優勝

V10 秋季リーグ戦 <10勝1敗>



超人たち現る

硬式野球部

春季リーグ戦で神宮を目前に天国から地獄に突き落とされた大商大だったが、春の悔しさをばねに秋季リーグ戦では見事、完全優勝を果たした。この勢いで関西地区選手権に挑んだが道半ばで敗れ去り、神宮への道は後輩選手に託された。どんなに高い壁にぶち当たろうとも、乗り越え頂点を目指せ!

秋季リーグ戦

〔関西六大学野球秋季リーグ戦では〕1戦1戦勝つことに苦闘した。この話す前主将・藤大成(公共経営4・近畿大附属)も、春季リーグ戦では、最終節で京都産業大学に屈辱的な3連敗を喫し、全日本選手権の道が途絶えてしまった。だが、秋季リーグ戦での大商大は違った。初戦、大阪経済大学から確実に勝ち点を挙げる。と京都産業大には、戦2勝と圧倒的な強さを見せつけた。そして、最終節の大阪学院大学にも危なげなく勝利し見事完全優勝を成し遂げた。この優勝に大きく貢献した選手がいる。2年生投手の尾田恭平(商2・智辯学園)だ。尾田は今季4つの個人賞を獲得し、防

関西地区選手権

秋季リーグ戦制覇により、関西地区大学野球選手権大会への出場を決めた大商大は、第1代表1回戦で強豪関西大学と激突した。結果は1-5

神宮大会は出場ならず

で敗北。敗者復活戦に回り、第2代表1回戦の相手は京都学園大学となった。しかし、大商大のスターティングメンバーは初戦での敗北のこともあり、なんと投手以外の4年生全員がベンチからのスタートだった。6回、2-1とリードされた場面

で、4年生のレギュラーが出て何とかしるこいう富山陽一(監督)大商大OBの指示が出てから試合は一転。7回で同点に、8回には逆転し、京都学園大に勝利を収めた。このまま勝ち進みたい大商大だったが、次戦では宿敵・大阪体育大学に逆

転負けとなった。神宮大会への出場を逃したが、来季が楽しみな新人が現れた。1年生投手の大西広樹(公共経営1・大商大)だ。自慢の148cmのストレートとスプリットを武器に、同選手権でも1年生ながら勢いのある投球を披露した。大西は「四球を減らし三振を増やす」と強く目標を語っていた。



技巧派 21 尾田 恭平

関西六大学野球秋季リーグ戦 9月3日~10月17日 南港中央野球場他

- 最優秀選手 小屋 裕(公共経営4・神戸国際大附属)
- 最優秀投手 尾田 恭平(商2・智辯学園)
- 担当記者クラブ賞 尾田 恭平(商2・智辯学園)
- ベストナイン(投手) 尾田 恭平(商2・智辯学園)
- ベストナイン(一塁手) 山崎 孝征(経済4・汎愛)
- ベストナイン(外野手) 本田 紘也(公共経営3・東海大付属仰星)
- ベストナイン(外野手) 滝野 要(公共経営2・大垣日本大)
- 平古場賞(新人賞) 尾田 恭平(商2・智辯学園)

本格派 11 大西 広樹

第14回関西地区大学野球選手権大会 兼第47回明治神宮野球大会関西地区第1・第2代表決定戦 10月29日~11月1日 南港中央野球場

第18号	
リーグ戦特集	
4面	1面
硬式野球部	硬式野球部
バスケットボール部	他
硬式庭球部	他
3面	2面
ウエイトリフティング部	日本拳法部
空手道部	合気道部
少林寺拳法部	水上競技部
ゴルフ同好会	他

榎本和輝

18



英姿颯爽

麗が期待を寄せている投手が榎本和輝(公共経営3・京都翔英)だ。榎本は小学校2年生から軟式野球を始め、その2年後には硬式でプレーをするようになる。高校に入學すると投手とともに打者でも実力を開花させた。大商大では2年生まで「二刀流」を続け、3年生からは投手一筋でやってきた。だが秋季リーグ戦では、2年生の投手を起用する場面が目立ち、榎本の出番はあまりなかった。しかしながら、榎本はどの投手よりも大事な役目を担っている。それは投手陣をまとめるピッチャーキャプテン(経済2・高松東)

フィールドホッケー部

男子3部 6位

<0勝5敗0分>

アメリカンフットボール部

男子5部 3位

<3勝0敗0分>

リーグ戦

学生記者大募集中!

スポーツ観戦が好きあなた、一緒にクラブ生の応援に行きませんか? 大学で何かに挑戦したいあなた、一緒に「商大スポーツ」を作りませんか?

お問い合わせは体育会本部まで
TEL:06-6788-7052
部室:総合体育館(北側)1階

バレーボール部

男子1部 9位

<1次Bブロック1勝4敗、2次下位リーグ3勝2敗>

卓球部

男子2部 5位

<2勝3敗>

ソフトテニス部

男子2部 5位

<1勝4敗>

ラグビー部

男子3部 3位

<3勝2敗0分>

ボウリング部

男子1部 8位

<1勝9敗>

硬式庭球部

男子5部 3位

<2勝2敗>

総まとめ 1・4面

※文中人名後の()内は、所属科学年・出身高校

日本拳法部
闘争を寄せ付けない強さで、前田悠輝(経営2・大商大)が日本一の栄光を手にした全日本学生拳法個人選手権大会。3分個人3本勝負の打ち回りで次々と敵を打ち倒し、着実に準決勝まで駒を進めた。準決勝の相手は関西学院大学の豊岡選手。決して氣を抜けない強敵。しかし、そんな相手に少しも怯むことなく、2本連取の圧巻の戦いぶりで勝利した。

この時点で、今日は勝つと優勝を確信し、強気で挑んだ決勝の相手は愛知学院大学日進学舎の鈴木選手。この選手と当たることは全く予想をしていなかったが、冷静かつ試合を乗り切らずに、相手の攻撃を巧みにいなす闘突きで1本先取するが、その後、鈴木選手の手面突きが決まり、1本返された。しかし、最後は再び前田の闘突きが決まり、2-1で見事、勝利した。

昨年度、部活動休止となり、満足のない練習ができていなかった。大商大日本拳法部。さらに高校時代に日本一に3度輝いた実績を持つ前田は、常々マークされ、試合運びも研究されていた。ただ、そんな不利な条件の中でも優勝した。1日目、全日本新入戦、西日本新人戦ともに優勝を果たした。東洋大学に公共経営1・徳島科学技術が男子56kg級で2位と20kg差を付け1位を奪った。男子62kg級の脇田勇平(公共経営2・薩摩中央)も優勝を決め、団体戦首位を奪った。

続く2日にも、出場した全ての階級で表彰台上がり、安定した強さを見せつけた。そして、男子94kg級の塚原湧斗(経済1・大阪産業大)が所属の須藤匠海(公共経営2・海洋)がいずれも成り、1位、2位を独占した。大商大の強さ、大の強さになった。逆転優勝にける立命館大学が105kg級で大会新記録を出し、必死の追い上げ

空手道部
緊張した面持ちで入場した選手たちの一礼で、全関西大学空手道選手権大会。男子団体組手1部の大商大が優勝し、2位と3位を奪った。大商大は初戦、城西学院大学を相手に難なく勝ち上り、その後、同志社



第64回関西学生ウエイトリフティング選手権大会
12月2日-3日 ひびきのコロシアム

V55 関西王者 2季連続



- 「第52回全日本学生新人ウエイトリフティング選手権大会」
男子56kg級 優勝 渡大(公共経営1・徳島科学技術)
男子77kg級 準優勝 一瀬 駿(経済1・星経国)
- 「第61回全日本学生ウエイトリフティング新人選手権大会」
男子56kg級 優勝 東野 凌大(公共経営1・徳島科学技術)
- 「第64回関西学生ウエイトリフティング選手権大会」
男子団体 優勝(2季連続55回目)
男子56kg級 優勝 東野 凌大(公共経営1・徳島科学技術)
男子62kg級 優勝 脇田 勇平(経済2・薩摩中央)
男子69kg級 準優勝 北田 翔平(経済3・坂野)
男子77kg級 優勝 土本 貴大(経済3・土城商業)
男子94kg級 優勝 塚原 湧斗(経済1・大阪産業大附属)
準優勝 須藤 匠海(公共経営2・海洋)
- 「第62回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会」
男子団体 9位

新鋭 東野

関西王者、大商大が新たな歴史の1ページを書き加えた。関西学生ウエイトリフティング選手権大会における男子団体戦での2季連続55回目の優勝。1日目、全日本新入戦、西日本新人戦ともに優勝を果たした。東洋大学に公共経営1・徳島科学技術が男子56kg級で2位と20kg差を付け1位を奪った。男子62kg級の脇田勇平(公共経営2・薩摩中央)も優勝を決め、団体戦首位を奪った。



第59回全関西大学空手道選手権大会
10月2日 大商大総合体育館アリーナ

全関西3位 男子団体組手



関西学生空手道オープンーナメント男子シニアクラスで飯作雄太郎(公共経営4・保善)が優勝。溝口誠(経済3・声山)が3位に輝き、表彰台を総なめにした。準決勝、決勝での大商大対決では、飯作が山本と溝口を下し、上級生の意地を見せつけた。準決勝で惜しくも敗れた山本は、表彰台に上がったことはうれしが、3位という結果には満足しない表情を見せた。一方、飯作は「けがからの復帰後始めている試合だったので優勝できてうれしかった」と喜びを浮かべた。

関西オープン 表彰台独占

- ◆カヌー部
「第52回関西学生カヌー選手権大会」
男子K-1 予選敗退 秋山 裕哉(経営1)
「第53回関西カヌーオープン選手権大会」
男子K-1 7位 秋山 裕哉(経営1)
- ◆剣道部
「第64回関西学生剣道優勝大会」
男子団体 1回戦敗退
「第28回関西学生剣道新人大会」
男子団体 ベスト32
- ◆硬式庭球部
「関西学生地域テニストーナメント」
男子シングルス 3回戦敗退 山本 勝一(経済1)
- ◆硬式野球部
「第14回関西地区大学野球選手権大会」
兼第47回明治神宮野球大会関西地区第1・第2代表決定戦
第2代表決定戦 2回戦敗退
「関西六大学野球秋季新人戦」
優勝 最優秀選手 橋本 侑樹(公共経営1)
- ◆柔道部
「第35回関西学生柔道体重別選手権大会」
男子66kg級 ベスト16 西田 成吾(高4)
男子86kg級 ベスト16 今川 吉輝(公共経営4)
男子100kg級 ベスト16 田中 華志(公共経営3)
「第49回大阪府下大学対抗柔道大会」
男子団体1部 4位

少林寺拳法部



「力は強くなくとも、力の強い人には勝てる」

1 初心者でも始めやすく、空手道と柔道、合気道を合わせたようなもの。
2 入ってみたいと分らない！上下関係などの社会勉強ができるので、自分に自信がつく！

大商大の少数精鋭

部員数は少ないが、日々の練習に励んで全員が能力に磨きをかけているクラブをピックアップ!! 新入部員、大募集中!

文/井戸垣 恭子(経営3・鳥取商業)

- ◆ソフトテニス部
「第70回全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会」
男子団体 2回戦敗退
- ◆卓球部
「第50回会長杯卓球大会」
男子団体 準優勝
男子ダブルス 優勝 幸松 宏毅(経済3)・丸山 剛也(高3)
ベスト8 常松 悠平(経済2)・中嶋 文哉(高1)
- ◆ボウリング部
「第55回関西学生ボウリング選手権大会」
男子マスターズ 18位 坂井 正幸(経済3)
「第53回関西学生新人ボウリング選手権大会」
男子 19位 若吉 拓巳(経営2)
- ◆バスケ部
「関西学生バスケボール新人戦」
ベスト32
- ◆バレーボール部
「関西バレーボール大学男女選手権大会」
男子 2回戦敗退
「第69回全日本バレーボール大学男子選手権大会」
決勝トーナメント戦 2回戦敗退
- ◆ソフトテニス部
「第70回全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会」
男子団体 2回戦敗退

- ◆ゴルフ同好会
「楽しくをモットーに」
1 ゴルフは18ホールあり、気持ちを引かずるとダメ。瞬間にうまく切り替えなければならぬ。
2 社会に出ても役立ち、良くも悪くも一人で戦うスポーツなので、メンタルが強くなる!
- ◆ライフル射撃部
「第63回秋季全関西学生ライフル射撃選手権大会」
50m×40M 25位 阪巳 侑輝(公共経営3)
「第63回全日本学生ライフル射撃選手権大会」
10mS60M 50位 阪巳 侑輝(公共経営3)
- ◆陸上競技部
「関西学生新人陸上競技選手権大会」
兼デイトラトレーズ
男子5000m タイムレース総合21位 高倉 陸(経済1)
「第63回全日本学生ライフル射撃選手権大会」
10mS60M 50位 阪巳 侑輝(公共経営3)
- ◆水泳競技部
「第90回関西学生選手権水泳競技大会」
男子50m自由形 予選9位 近藤 将平(公共経営4・関西大北陽)

前田

勝を果した前田は「部活動を再開してから大会ではあまり結果を残せなかったが、今回は試合を乗り切った。今まで練習を続けて、優勝することができて本当に良かった」と笑顔で振り返った。現大会へ改称する前の全日本学生個人で32年連続3連覇を達成した拳士は、この後は誰一人この偉業を成していない。「あと2回は優勝して、連覇を成し遂げたい」と前田は、今後についても頼もしい目標を語った。また、この好成績の快進撃が始まる。

(経営3・米子南)

またも表彰台逃がす 演武競技男子対徒手の部

中嶋優斗(高4・伊和)と寺田晃平(経営2・秀岳館)が全日本学生空手道競技大会演武競技男子対徒手の部で4位に留まった。二人で組んだ当初は息が合わず苦戦したが、関西大会を乗り切った。真面目に頑張り、真面目に頑張った。口には後輩への期待を、一から積み上げ、次こそ優勝をとりベンチを離れた。

文/和田甲央(経営3・米子南)

全日本4位



第47回全日本学生合気道競技大会
11月6日 近畿大記念会館

- 「第47回全日本学生合気道競技大会」
乱取競技男子団体戦 1回戦敗退
乱取競技男子個人戦 3回戦敗退
2回戦敗退
演武競技男子対徒手の部 4位
- 「第36回関西学生合気道新人競技大会」
乱取競技男子個人戦 Cブロック決勝敗退
2回戦敗退
演武競技男子対徒手の部 ベスト8
- 「第60回全日本大学空手道選手権大会」
男子団体組手 ベスト16

日本一 向かうところ敵無し

勝を果した前田は「部活動を再開してから大会ではあまり結果を残せなかったが、今回は試合を乗り切った。今まで練習を続けて、優勝することができて本当に良かった」と笑顔で振り返った。現大会へ改称する前の全日本学生個人で32年連続3連覇を達成した拳士は、この後は誰一人この偉業を成していない。「あと2回は優勝して、連覇を成し遂げたい」と前田は、今後についても頼もしい目標を語った。また、この好成績の快進撃が始まる。

(経営3・米子南)

前田

勝を果した前田は「部活動を再開してから大会ではあまり結果を残せなかったが、今回は試合を乗り切った。今まで練習を続けて、優勝することができて本当に良かった」と笑顔で振り返った。現大会へ改称する前の全日本学生個人で32年連続3連覇を達成した拳士は、この後は誰一人この偉業を成していない。「あと2回は優勝して、連覇を成し遂げたい」と前田は、今後についても頼もしい目標を語った。また、この好成績の快進撃が始まる。

(経営3・米子南)

全日本4位



第32回全日本学生拳法個人選手権大会
10月23日 名古屋市天白スポーツセンター

- 「第56回全日本学生拳法個人選手権大会」
2回戦敗退 前田 悠輝(経営2・大商大)
1回戦敗退 橋松 翼矢(経営3・権原)
1回戦敗退 石川 翔一朗(高2・大商大)
- 「第32回全日本学生拳法個人選手権大会」
男子の部 優勝 前田 悠輝(経営2・大商大)
- 「第61回全日本学生拳法選手権大会」
男子団体 2回戦敗退

自由形 50m 銀 100m 銀

近藤 将平(経営4・関西大北陽)が、4年連続で全日本学生選手権水泳競技大会演武競技男子対徒手の部で4位に留まった。二人で組んだ当初は息が合わず苦戦したが、関西大会を乗り切った。真面目に頑張り、真面目に頑張った。口には後輩への期待を、一から積み上げ、次こそ優勝をとりベンチを離れた。

文/和田甲央(経営3・米子南)

関西男子3部

近藤 将平(経営4・関西大北陽)が、4年連続で全日本学生選手権水泳競技大会演武競技男子対徒手の部で4位に留まった。二人で組んだ当初は息が合わず苦戦したが、関西大会を乗り切った。真面目に頑張り、真面目に頑張った。口には後輩への期待を、一から積み上げ、次こそ優勝をとりベンチを離れた。

文/和田甲央(経営3・米子南)

出た。50mではほんの0.03秒1位に及ばず、100mでも僅差で涙を飲んだが、4年連続で全日本学生選手権水泳競技大会演武競技男子対徒手の部で4位に留まった。二人で組んだ当初は息が合わず苦戦したが、関西大会を乗り切った。真面目に頑張り、真面目に頑張った。口には後輩への期待を、一から積み上げ、次こそ優勝をとりベンチを離れた。

文/和田甲央(経営3・米子南)

「この時代の、今日は勝つと優勝を確信し、強気で挑んだ決勝の相手は愛知学院大学日進学舎の鈴木選手。この選手と当たることは全く予想をしていなかったが、冷静かつ試合を乗り切らずに、相手の攻撃を巧みにいなす闘突きで1本先取するが、その後、鈴木選手の手面突きが決まり、1本返された。しかし、最後は再び前田の闘突きが決まり、2-1で見事、勝利した。」

文/吉田 穂高(経営3・大商大)

秋季リーグ戦 準V

<8勝2敗2分>

痛恨のサヨナラ負け



- 首位打者 坪久田 和也(経営2・神港学園神港)
- ベストナイン(外野手) 山尾 篤輝(公共経営3・大商大堺)
- 打点王 北坂 祐磨(経済1・明德義塾)
- 新人王 北坂 祐磨(経済1・明德義塾)

阪神六大学準硬式野球連盟秋季リーグ戦 8月23日~10月25日 住之江公園野球場他

準硬式野球部

悪夢の大逆転を喫した。首位を走っていた大商大は、阪神六大学野球連盟秋季リーグ戦第13節、優勝をかけて関西大学人間健康学部との直接対決を迎えた。先発を任せられた根木龍斗(経済1・鹿島)は、序盤、相手打者を押さええる好投を見せた。それに応えるように大商大打線が爆発した。坪久田和也(経営2・神港学園神港)はこの日も安定した打撃でチームに貢献。秋から主力でチームを支え、チャンスで打ってくれる北坂祐磨(経済1・明德義塾)の存在も光った。だが、中盤、ピッチャー交代から流れが一変した。大商大は6回から相手の

2部Aリーグ通年8位

<5勝9敗4分>



入替戦意地の勝利

- 優秀選手賞(DF) 下川 陽太(経営3・国見)
- 優秀選手賞(FW) 山本 知伯(公共経営4・県立西宮)
- アシスト王 下山 隼基(公共経営3・興陽)

第94回関西学生サッカーリーグ2部A-2部B入替戦 11月26日 J-GREEN堺

サッカー部

関西学生サッカー2部Aリーグ、前期を6位で折り返した大商大だったが上位と勝ち点の差は少なく、後期リーグでは巻き返しを誓い、上位進出を意気込んだ。

だが、後期リーグでは守備陣が乱れ失点を重ねる試合が続く。後期、通年ともに8位という不本意な成績に終わった。この結果、2部Bリーグ3位の神戸学院大学との入替戦を余儀なくされた。来季に向けて絶対負けられない一戦、大商大は意地を見せる。

Aリーグ昇格へと一致団結する神戸学院大に対し、前半から優勢に試合を進め、前半21分に今季アシスト王に輝いた下山隼基(公共経営3・興陽)のラストパスから山本知伯(経営3・明石南)のシュートで先制点を挙げる。さらに勢い付いた大商大は下山の1ゴール1アシストの活躍で2点を加え、前半3-0と大きくリードした。

後半8分、大商大に退場者が出て、残り時間を数的不利の状態に戦った。しかし、主将の山本を中心に人数の差を感じさせないほど攻守に走り続けた。ラスト15分は勝利を諦めない神戸学院大の猛攻を受けるも全員が最後まで粘り強くリードを守り抜き、3-1で勝利を収め、無事、2部Aリーグに留まった。

苦汁をなめた大商大イレブン。来季は下位に沈んだ悔しさを晴らし、上位で躍動している姿をこの目に焼き付けたい。逆襲へのホイッスルが今、吹かれた。

文/大村直之 (経営3・明石南)

3部リーグ 準V

<10勝1敗>



2部即復帰ならず

バスケットボール部

関西学生バスケットボールリーグ戦、2部復帰を目指した大商大は、神戸学院大学に唯一の黒星を許し、3部準優勝に終わった。

優勝とともに自動昇格を逃した大商大は、龍谷大学との入替戦に挑むことになった。第1Q、緊張で得点が伸びず、6-16と龍谷大にリードを許した。しかし、第2Qで驚異の追い上げを見せ、27-26で逆転に成功した。その後も混戦となったが勢いが続き、最終Qで51-63と再び点差を離され敗北し、2部復帰を果

たせなかった。

このリーグ戦を通して主将の大澤亮介(経済4・和歌山北)は、チーム全体の成長を感じていた。だが、「入替戦で勝つ自信はあったが、接戦で競り

勝つ力がなかった。接戦でも本来の自分の力を出せるようなチームになってほしい」と大澤と課題を口にした。

また、敢闘賞に選ばれた副将の岡田賢一(経営4・旭)を率いていく存在(岡田)と語った。一方でチームメイトに対して感情的に熱バスターをしてほしい。もっと上に行ける(岡田)と厳しい言葉も残した。

文/森山佳祐 (商3・長尾谷)

敢闘賞 岡田賢一(経営4・旭)

関西学生バスケットボールリーグ戦入替戦 11月12日 近畿大会会館

予選リーグ 女子5部 3位

<1勝2敗>

硬式庭球部

今秋、大商大硬式庭球部が関西大学対抗テニスリーグ戦女子5部予選リーグに初出場を果たした。結果はCブロック1勝2敗で予選敗退となった。リーグ戦では女子選手が4人しかおらず、さらに1人がけがで欠場したためハンディを背負っての初陣となった。

西村実果(経営3・摂津)が「欠場した後輩の分まで気合が入った。けれど、年に1回のリーグ戦で実力の全て



団体戦デビュー

関西大学対抗テニスリーグ戦(予選) 9月3日~11日 大商大多目的屋内競技場他

我楽多

▼今号から本格的に商大スポーツの編集に携わりました。体育会本部広報部には1年生が私しかおらず、これから先輩になったときに後輩に教えることができるいい機会だと思います。初めての記事でいろいろと戸惑いましたが、先輩方が教えてくれることをしっかり学んでいきたいと思いましたが、堅山

▼2度目の硬式野球部の記事を担当しました。1年前初めて硬式野球部の記事を書きましたが、うまく書くことができず、先輩と一緒に作り上げました。ですが今回改めて一人で書いてみると不思議にさらさらと書くことができ、自分でも成長したなあと感じることができました。(太田)

▼前号はボクシング部の記事を担当し、今号は空手道部の記事を書きました。修正を重ねてやっと完成させることができました。写真はうまく撮れるようになりましたが、レイアウトや文章に関してはまだまだと感じます。今号も商大スポーツの編集を通して成長していきたいと思えます。(森山)

▼第67代体育会本部広報部長に就任しました。今号は準硬式野球部とテニスリーグ戦の記事を担当しました。最近で見る試合は選手の表情や応援する仲間や、会場や会場の雰囲気を感じることができ、とても迫力がありました。体育会本部として全てのクラブの応援に行き、クラブを写真に収めることを目標に頑張ります。(金城)

商大スポーツ SHODAI SPORTS

発行編集 大阪商業大学 学生生活課 課外活動支援室(スポーツセンター)

印刷 日本ビジネスアート株式会社

※文中人名後の()内は、所属学科学年・出身高校